

市議団ニュース

連絡先

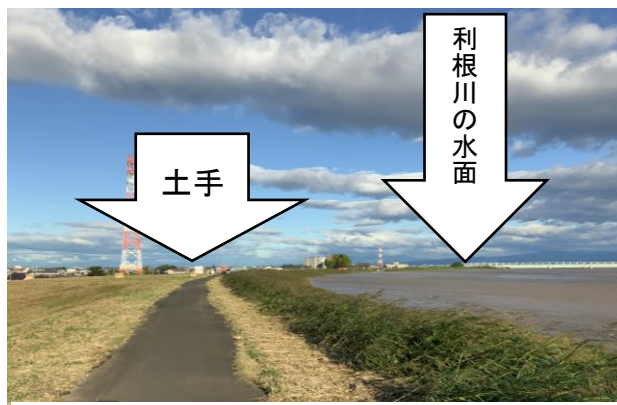
2019年11月17日号

杉野 修 58-9010 渡辺昌代 21-9058

石田利春 52-7260 平間益美 23-9519

【議員団控室（市役所5F）の住所・久喜市下早見85-3】

「日本共産党久喜市議団ブログ」更新中です



10月13日の朝7時頃 利根川水位は9.20mを示していました。氾濫危険水位は8.9mです。

これまでに 届いている声

◆避難しなかった方は

- ・久喜市が「避難勧告」を発令したことを知らなかった。
- ・防災無線からの放送を注意していたがわからなかった。
- ・避難所がいっぱいで入れず帰って来た。
- ・指定避難所が開設されていなかった。
- ・雨や風が吹き荒れる中、避難できなかった。
- ・ペットがいることから避難しなかった。
- ・2階にいれば大丈夫だと思って避難しなかった。

◇指定避難所へ避難された方は

- ・エレベーターがなく大変だった。
- ・駐車場がいっぱいで入れなかった。
- ・2階建ての避難所で大丈夫なのか不安だった。



高校生から主婦まで、久喜市内に在住、在学する女性たちが、堂々と市長に対して質問する姿は、素晴らしいものがありました。

アンケート実施中 ご協力を
議員団は、皆さんが体験された生の声をいただき、「犠牲者ゼロ」の災害対策を構築するためアンケートを実施しています。皆さんのご協力をお願い致します。

台風19号の被害は、91名の方が亡くなり、河川の氾濫も相次ぐなど甚大な被害となりました。心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。
久喜市においても「もし利根川が決壊していたら命が危なかった」と不安の声とともに、地球温暖化が進む中、台風19号のような規模を持つ台風は、近いうちにまた来る可能性が高いという声が聞かれます。
台風19号によって出された「避難勧告」は深夜の2時、暴風雨が吹き荒れる最悪の条件の中で出されたと言えます。水害による犠牲者を出さない、実効性のある対策を準備することが求められています。

久喜市栗橋地域と同様に、利根川に隣接し「洪水浸水想定」が「家屋倒壊」と想定されている地域に、加須市の北川辺地区や大利根地区があります。
今回の台風では、「避難指示」が発令され、地元を離れ、水が浸水しない地域へ避難する「広域避難」（水平避難）が実施されました。
今回の台風では、バス15台で、あらかじめ指定した市外の学校や、市内の比較的高い位置にある騎西高校へと避難しました。
日頃から訓練し「広域避難」が出来た事例として報道されています。しかし、「大渋滞」が発生するなど、問題点も明らかになり課題となっていました。
11月議会がまもなく始まります。日本共産党久喜市議団は、問題と課題を明らかにし、犠牲者ゼロの災害対策を構築するために、全力で取り組みます。

2年に一度の女性議会が開かれました！

10月26日、久喜市女性議会が開かれました。久喜市では、「子ども議会」と毎年隔年で開催しています。議会を身近に感じ、行政に関心を持って貰う良い機会になっています。

当日は、18名の女性議員（うち高校生5名大学生2名）が自分の意見を堂々と述べていました。危険な道路の整備、街灯やカーブミラーの設置要求、災害避難の問題、障がい者雇用の問題、子育て支援の拡大要望など、本当にそれぞれの立場から具体的な質問をしていました。

バスケットボール部に所属する高校生からは、「久喜駅から学校までの登下校で、たばこの吸い殻を拾う活動を一年間続けているが、朝拾っても夕方には同様に落ちている」と訴えがありました。大人の恥ずべきマナーとともに、市の対応が迫られる内容で、真剣に考えなければなりません。

今回の議会から再質問ができるようになり、最初の答弁を受け、具体的な市の対応を問う再質問には、梅田市長が答弁に窮するところもありました。今後の改善も必要です。女性議員の皆さんの要望に応えられるように行政も取り組んで欲しいと切に思います。

大雨台風19号河川決壊をリアルに受け止めよう！

栗橋から驚宮の八甫に向かう道路、拡幅されました！

石田としはる

栗橋地区から久喜の中心部に向かう道路です。現在国道125号線が工事中ということもあり、普段にも増して交通量が多くなっています。

この秋、県道と接続する場所の拡幅が実施されました。写真は既存の道路ですが、この左側に、新しい広い道路ができ、木が茂っている左側につながります。

交差点となり、信号が着く予定です。私は栗橋支所方面からこの道路に曲がるための「右折帯」が必要と求めています。市も、作りたい意向を示しています。が、「県道」であることから、埼玉県とも協議中です。安全な道路づくりは、街づくりの基本。自転車道も付ける予定です。



待ち望まれている道路整備

小中学校給食費第3子無償化を実現！こんどは1子2子も

「給食費は保護者が支払うもの」として支援を検討してこなかった久喜市ですが、給食費の無償化を永年要望してきた皆さんと共産党の声が届き、「本年4月より第3子以降を無償にする」との決定をし、実施が始まりました。みなさんと力を合わせて運動・要望を継続してきた結果です。

2019年10月現在 対象者と予算

小学生274人、予算約1137万円
(10カ月・年額4万1500円で計算)
・特別支援学校小学部2名
・予算8万3000円
(10カ月・年額4万5000円で計算)

年間ますみ

・中学生3名
・予算14万8500円
(10カ月・年額4万9500円で計算)

合計

1160万2500円

(概略)

尚、受給条件として市民税などの滞納者は除くとあります。

現在条件確認中の家族もあるという事です。

引き続き、第1子・第2子も対象とした給食費の無償化実現に向けて、取り組んで行きます。



みんなで
たのしい
給食！

「新日本婦人の会」から要望をいただき、懇談必ず市に届けます！

先日市民団体である「新日本婦人の会」久喜地域支部の皆さんと懇談をしました。その時に提出された意見要望は下記の通りです。※デマンドバスを利用し易くしてほしい、特に台数を増やして予約がしやすく、区域外も行けるようにしてほしい。また、循環バスの台数も増やし、区域も広げ、便も増やし、高齢者や免許返上者など、が利用できるようにしてほしい。

※各公民館のエアコンの調節ができるように、青葉公民館のエアコンは新しくしてほしい。

渡辺まよよ

※いまアセットマネジメントで公共施設の統廃合を進めると聞くが、青葉公民館は無くさないで欲しい。市民の活動の場がなくなってしまうことはやめてほしい

※全体では「公民館の使用料は無料に。トイレは洋式化を早急に進めて」が、また、中央公民館の駐車場を広げてとの要望も出されました。

今後も様々な方との懇談でご意見を聞かせていただき、市の担当に要求をしていきたいと思っています。



もっと車が置けるよう駐車場を広げて！要望は切実！

福祉健康常任委員会 ロボットスーツ「ハル」を試着体験しました！

福祉では、岡山県、香川県に行政視察をしました。香川県では、総合病院と診療所などが医療の情報共有をし、遠隔医療に役立てていることを勉強しました。

岡山県では「ロボケアセンター」を視察。病気や事故で障害を持つようになった方が、ロボットスーツ「ハル」を使うことで、体が忘れていた運動能力を回復させる援助をします。

ハルは、単に筋肉の代わりをするわけではなく、使い手が「歩くために右足を踏み出す」とすると「脳波が出ますが、それを感じ取り

杉野おさむ

って、体に命令を送ります。こうしたことを繰り返すことで歩けなかった人が、半年、1年（個人差はある）と使ううちに歩けるようになった事例が多数、報告されています。

まさに、聖書に出てくるような「奇蹟」に近いことが「ハル」によって体現するのです。発明者の山海教授の意志によって、ハルの貸し出し期間は「5年」です。その理由は、「長くレンタルすると、軍事に転用される恐れがあるから」だそうです。その点は凄く感じ入りました。所長が重ねて言いました。「私たちはハルを大量販売しません。ハルが必要な社会を目指しているのです。」と。



これが
腰型ハル

参加者は全員試着しました。腰への負担が4割軽減されるとの通り、素晴らしいものでした。